

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

(専門科目) ・ 一般科目

1/3ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備技術科	担当	松原 徹 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	航空機システム	授業 方法	(講義) 演習・実習	教育時間	60
教科書	日本航空技術協会 航空工学講座(3) 航空機システム				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	航空機の進歩に対応した航空機システムについて理解させる。			
実務経験	航空自衛隊での実務経験を活かした航空機システムの授業。			
授業の進め方	実機による説明、映像・系統図を利用する。			
到達目標	1. 航空機システムの必要性、システムに使用されている機器、その作動原理・機能について理解させる。 2. 航空機製造にかかわる知識を高める。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	油圧系統	15		
2	空気圧系統	8		
3	酸素系統	8		
4	空調・与圧系統	8		
5	防除氷系統	8		
6	燃料系統	7		
7	補助動力装置系統	6		

学科	航空整備技術科 技術コース	学年	2年
科目	航空機システム	授業方法	講義

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
油圧系統	<ul style="list-style-type: none"> a 概要 b 油圧系統の原理 c 基本の油圧系統 d 作動油 e 油圧系統の構成部品 f 油圧ブレーキ系統 g 実際の油圧系統 	4月～6月	15	
空気圧系統	<ul style="list-style-type: none"> a 空気圧系統の利用と特徴 b 気体熱力学の基礎 c 空気圧の供給源 d 圧力・温度の調整 e 空気の供給路 f 空気圧系統の構成部品と作動 g 系統の表示 	6月～7月	8	
酸素系統	<ul style="list-style-type: none"> a 概要 b 大気と呼吸作用 c 酸素供給装置の必要性 d 酸素供給装置の区分 e 酸素ガスと供給 f 酸素調整機能 g 酸素マスク h 乗客用非常酸素装置 	7月～9月	8	
空調・与圧系統	<ul style="list-style-type: none"> a 空調・与圧系統の目的 b 用語と定義 c 系統作動の基本 d 客室圧力の供給源 e 空気調和系統 f 暖房系統 g 換気機能 h 与圧系統 	10月	8	

学科	航空整備技術科 技術コース	学年	2年
科目	航空機システム	授業方法	講義

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
防除氷系統	a 概要 b 空気式除氷系統 c 熱除氷装置 d 翼の防除氷 e プロペラの防除氷 f レシプロ・エンジンの防除氷 g エンジン・ナセルの防氷 h ガスタービン・エンジンの防氷 I 感知器の防氷 j 空気取入口の防氷 k 排気口の防氷 l アンテナの防氷 m 風防と窓の防氷 n 雨滴除去装置 o 着氷感知器	11月～12月	8	
燃料系統	a 概要 b 燃料供給系統 c 通気系統 d 燃料補給系統 e 燃料放出系統 f クロス・フィード	12月～1月	7	
補助動力装置系統	a 概要 b APUのガスタービン・エンジン c APUの制御 d APUの性能	2月	6	

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備技術科/K2T	担当	国守 剛 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	情報	授業 方法	講義・ 演習 ・実習	教育時間	60
教科書	例題30+演習問題70でしっかり学ぶExcel標準テキストWindows11/Office2021対応版 例題30+演習問題70でしっかり学ぶWord標準テキストWindows11/Office2021対応版				
参考書	-				

教 育 の 内 容				
授業概要	コンピューター基礎知識からWORD,EXCEL等の実務系アプリケーションまでを演習を通じて情報リテラシーを学ぶ。到達目標は社会人1年目に必要とされるICT活用スキル。			
実務経験	ネットワーク・エンジニア、パソコン検定インストラクター、高校情報系教諭			
授業の進め方	WEBテストを使用し、達成度を都度確認しながら、オンライン教材、テキスト併用で授業を進める。			
到達目標	入社時に要求されるICT活用スキルを有する人材 ■ 基本的なICT活用による職務の遂行と問題解決が、人を頼らずにできる ■ 基本的なICT知識・スキルを有する			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	40%	40%	20%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	ガイダンス/環境設定/DX説明	2		
2	学習前試験	2		
3	コンピューター一般知識	4		
4	情報通信ネットワーク	4		
5	情報モラルと情報セキュリティ	4		
6	ICTを活用した問題解決	4		
7	WORD	8		
8	EXCEL/データベース	32		

学科	航空整備技術科/K2T	学年	2年
科目	情報	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
ガイダンス 学習前試験	<p>【ガイダンス】</p> <p>シラバス・DX説明 環境準備・設定</p> <p>【学習前試験】</p> <p>コンピューター知識 情報通信ネットワーク 情報モラルと情報セキュリティ ICTを活用した問題解決</p>	4月	4	
コンピューター知識	<p>デジタルデータの処理の概念を説明できる</p> <p>情報のデジタル表現とはどのようなものか説明できる</p> <p>2進数、10進数の違いを説明できる</p> <p>ハードウェア相互の接続とデジタルデータの処理方法を説明できる</p> <p>情報の記録形態と情報の大きさを表す単位を説明できる</p> <p>ファイルの拡張子の意味や種類を説明できる</p> <p>入力装置の種類と特徴を説明できる</p> <p>バーコードリーダーやOCRについて説明できる</p> <p>ポインティングデバイスについて説明できる</p> <p>スキャナーの解像度について説明できる</p> <p>出力装置の種類と特徴を説明できる</p> <p>プリンターの種類と特徴を理解した上で導入できる</p> <p>プリンター用品にはどのようなものがあるか説明できる</p> <p>ディスプレイの表示色を説明できる</p> <p>ディスプレイの画面サイズと解像度の関係を説明できる</p> <p>記憶装置の種類と特徴を説明できる</p> <p>CDの読み込み速度の単位を説明できる</p> <p>CD、DVDの種類と特徴を説明できる</p> <p>メモリーカードについて説明できる</p> <p>ハードディスクの種類と特徴を説明できる</p> <p>記憶媒体の違いによるアクセス速度の違いを説明できる</p> <p>利用者サービスの種類を理解した上でサービスを利用できる</p> <p>サポートセンターの役割を理解した上で利用できる</p> <p>取扱説明書の記載内容を理解した上で利用できる</p> <p>保証期間の意味を説明できる</p> <p>デジタル化の利点や問題点を説明できる</p> <p>文字や画像をデジタル表現する方法を説明できる</p>	5月	4	

学科	航空整備技術科/K2T	学年	2年
科目	情報	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
	デジタル化の利点、問題点を説明できる コンピューターを利用したデータの管理や分析ができる ファイルを階層構造を理解した上で操作できる データベースの概念を説明できる 簡単なデータ分析の仕方や作業の手順をフローチャート化できる 【到達度試験】 コンピューター知識			
情報通信ネットワーク	情報通信システムの基本的な仕組みを説明できる 情報通信システムを利用する際の課金の種類について説明できる 情報通信システムの基本的な仕組みと具体例について説明できる インターネットへの接続と利用形態を説明できる LANの接続形態を説明できる ホームページが公開される仕組みを説明できる HTMLとはどのようなものか説明できる URLの構成と意味について説明できる ソーシャルネットワークサービスの種類と特徴を説明できる ログオン/ログオフの意味について説明できる ログオン、ログオフの意味を説明できる ログオン時に必要な入力情報を説明できる ネットワーク資源の基本的な活用ができる サーバー、クライアントとはどのようなものか説明できる ネットワーク資源の共有ができる 共有フォルダー、共有ディスクの利用ができる ホームページの仕組みを理解した上で活用できる ホームページ内のリンクをたどり情報を検索できる 情報の検索方法を理解した上で、情報を検索できる ブックマークにホームページを登録できる 電子メールの機能を理解した上で活用できる 電子メールの宛先を目的により使い分けができる POP、SMTPとはどのようなものか説明できる 電子メールの使用上の注意点を説明できる 【到達度試験】 情報通信ネットワーク	5月	4	
	情報モラルの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 情報倫理とはどのようなものか説明できる スパムメールとはどのようなものか説明できる			

学科	航空整備技術科/K2T	学年	2年
科目	情報	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
情報モラルと情報セキュリティ	<p>ホームページや電子掲示板などに情報登録する際の注意事項を遵守できる</p> <p>ホームページ閲覧時の注意事項を遵守できる</p> <p>個人情報保護の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる</p> <p>個人情報保護法の意味を説明できる</p> <p>個人情報となる情報を見極めることができる</p> <p>情報セキュリティの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる</p> <p>インターネット上の詐欺行為とはどのようなものか説明できる</p> <p>インターネット利用時の注意事項を遵守できる</p> <p>トラブル時の対応やトラブル回避のための行動をとることができる</p> <p>情報セキュリティの向上策について説明できる</p> <p>コンピューターウイルスに対する基本的な対処ができる</p> <p>ウイルス対策ソフトの機能を説明できる</p> <p>コンピューターウイルスに感染した場合の基本的な対応ができる</p> <p>コンピューターウイルスの予防方法を説明できる</p> <p>知的財産権や肖像権の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる</p> <p>知的財産権の種類を具体的に説明できる</p> <p>肖像権の侵害を具体的に説明できる</p> <p>商標権の侵害を具体的に説明できる</p> <p>著作権の侵害を具体的に説明できる</p> <p>著作権を侵害しないための注意事項を遵守できる</p> <p>ソフトウェアを適切に利用できる</p> <p>【到達度試験】 情報モラルと情報セキュリティ</p>	6月	4	
ICTを活用した	<p>【意思決定】</p> <p>収集または与えられた情報をもとに、物の選択や行為の決定を行うためのアルゴリズムを組み立て、意思決定に役立てることができる</p> <p>文脈の中から意思決定に必要な複数の情報を抽出することができる</p> <p>複数の情報を活用して、意思決定のための手順を組み立てることができる</p> <p>手順に従って、物の選択や行為の決定などの意思決定ができる</p> <p>結果の妥当性を文脈に照らして再考し、評価することができる</p> <p>【システム分析と設計】</p> <p>相互に関連し合う要素から構成される体系、方式、組織などを演繹的・帰納的に解析・設計することができる</p> <p>文脈で得られた情報の性格付けを行い、データベース化することができる</p> <p>データベースをもとに、解析・設計に必要な情報を抽出することができる</p>	6月	4	

学科	航空整備技術科/K2T	学年	2年
科目	情報	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
問題解決	<p>抽出した情報をもとに解析・設計を行い、結果を得ることができる</p> <p>得られた結果の汎用性を確認することができる</p> <p>【不測の事態への対応】</p> <p>トラブル、割り込み、予定からの逸脱、第三者の誤りの修復などに対応することができる</p> <p>得られた複数の情報を関係付けすることができる</p> <p>整理した情報を推論や仮説をもとに批判的に評価することができる</p> <p>社会的・技術的に受け入れられる解決方法を複数、選ぶことができる</p> <p>適切な方法、表現で第三者に問題解決の方法を伝えることができる</p> <p>【到達度試験】 ICTを活用した問題解決</p>			
ワープロ (WORD)	<p>文書の編集ができる</p> <p>挿入モードと上書きモードの機能の利用ができる</p> <p>箇条書きの設定ができる</p> <p>段落番号の設定ができる</p> <p>インデントの種類と機能の説明ができる</p> <p>インデントの設定ができる(字下げ、ぶら下げ)</p> <p>均等割り付けの設定ができる</p> <p>文字飾り(取り消し線、二重取り消し線、上付き、下付き)の設定ができる</p> <p>行間の設定ができる</p> <p>段落罫線の設定ができる</p> <p>改ページ(ページ区切り)の設定ができる</p> <p>ページ罫線の設定ができる</p> <p>ルビをふることができる</p> <p>表の作成と編集ができる</p> <p>表内の文字の配置を変更することができる</p> <p>表内のフォントの書式設定ができる(書体、太字、斜体、下線、色)</p> <p>列の幅と行の高さを揃えることができる</p> <p>セルを結合・分割できる</p> <p>簡単な表の罫線を設定できる</p> <p>図の挿入や図形の作成ができる</p> <p>オブジェクトの種類と特徴の説明ができる</p> <p>図形にテキストを追加できる</p> <p>図のグループ化ができる</p> <p>テキストボックスを作成できる</p>	7月	8	

学科	航空整備技術科/K2T	学年	2年
科目	情報	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
	<p>テキストボックスを編集できる</p> <p>ワードアートを作成できる</p> <p>ページや印刷の設定ができる</p> <p>ヘッダー・フッターの機能の説明ができる</p> <p>ページ番号の挿入の操作ができる</p> <p>ヘッダーやフッターの設定ができる</p> <p>ページ余白を設定できる</p> <p>ページの文字数・行数・文字方向の設定ができる</p>			
表計算・データベース（EXCEL）	<p>表計算ソフトの操作ができる</p> <p>データの並べ替えができる</p> <p>並べ替えのキーの優先順位が設定できる</p> <p>ワークシート間で3D集計(串刺し集計)できる</p> <p>オートコンプリート機能とオートコレクト機能の解除と設定ができる</p> <p>入力規則が設定できる(数値・文字列・日付や時刻)</p> <p>形式を選択して貼り付けができる</p> <p>書式がコピーできる</p> <p>ウィンドウ枠固定を設定できる</p> <p>行や列の表示/非表示の設定ができる</p> <p>オートフィル機能を利用できる</p> <p>ワークシート名の変更とシート見出しの色の設定ができる</p> <p>ワークシートを移動またはコピーできる</p> <p>ワークシートを挿入または削除できる</p> <p>複数シートの選択ができる</p> <p>作業グループの設定ができる</p> <p>グラフの使用・編集ができる</p> <p>グラフの種類を変更できる</p> <p>グラフの書式設定ができる(プロットエリア、グラフエリア)</p> <p>計算式や関数が利用できる</p> <p>最大値を求める関数を使用した計算式の作成ができる</p> <p>最小値を求める関数を使用した計算式の作成ができる</p> <p>平均値を求める関数を使用した計算式の作成ができる</p> <p>データの個数を求める関数を使用した計算式の作成ができる</p> <p>絶対参照を使用した計算式の作成ができる</p> <p>ページ設定および印刷の設定ができる</p>	9月～	32	

学科	航空整備技術科/K2T	学年	2年
科目	情報	授業方法	演習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
	ヘッダーやフッターのページ番号やファイル名の設定ができる ヘッダーやフッターの任意文字列の設定ができる ページ余白を設定できる 改ページプレビューを利用して設定ができる			

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/3ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備技術科 技術コース	担当	松原 徹 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	装備一般	授業 方法	講義・演習・ 実習	教育時間	60
教科書	日本航空技術協会 航空工学講座(10) 航空電子・電気装備				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	航空機の装備品の名称、働き、作動原理などを理解する。			
実務経験	航空自衛隊での実務経験を活かした装備一般の授業。			
授業の進め方	実物の計器・装備品を見たり、映像による理解度を高める。			
到達目標	1. 航空機に装備されている各種計器、電子装備品、無線航法機器などの構造、作動原理を理解させる。 2. 航空機製造にかかわる仕事をする上で、用語を知る。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	70%	10%	20%	100%
授 業 計 画 (1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	電源システムと照明	4		
2	アンテナと電波伝搬	8		
3	通信システム	10		
4	航法システム	10		
5	自動操縦系統	10		
6	警報装置、記録装置および救助捜索装置	10		
7	デジタルア・ビオニクス	4		
8	エリア・ナビゲーション	4		

学科	航空整備技術科 技術コース	学年	2年
科目	装備一般	授業方法	実習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
電源システムと照明	a 電源の種類 b 直流電源 c 交流電源 d 航空機照明	4月	4	
電波伝搬	a 送信機、受信機 b 電波の種類 c アンテナ d 電波伝搬	5月～6月	8	
通信システム	a VHF通信システム b HF通信システム c セルコール・システム d オーディオ・システム e 通信衛星システム	6月～7月	10	
航法システム	a 自動方向探知機 b 超短波全方位式無線標識 c 計器着陸装置 d 距離測定装置 e ATCTランスポンダ f 個別識別トランスポンダ g 気象レーダー h 電波高度計 i 衝突防止装置 j 慣性航法システム	7月～9月	10	
自動操縦装置	a 航空機の運動と操縦法 b 安定性と操縦性 c オートパイロットの基礎、機能 d 油圧サーボ機構 e オートスロットル・システム f フライ・バイ・ワイヤ	9月～10月	10	
警報装置	a 高度警報装置 b 失速警報装置 c 対地接近警報装置 d 音声記録装置、飛行記録装置 e 航空機用救命無線機	11月～12月	10	

学科	航空整備技術科	学年	2年
科目	装備一般	授業方法	実習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
デジタルアビオニクス	a 慣性基準装置 b エア・データ・コンピュータ c 全地球測位システム d 電子式飛行計器システム e データ・リンク・システム f モニター・システム g 飛行管理システム h ヘッドアップ・ディスプレイ	12月～1月	4	
エリア・ナビゲーション	a RNAVによる飛行原理	1月～2月	4	

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備技術科	担当	松原 徹 (常勤)	開講時期	1年次 通年
科目名	飛行機実習	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	60
教科書	日本航空技術協会 基本工具 日本航空技術協会 航空機の基本技術				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	実習を通じて航空機取り扱い法、整備の基本技術を身に付けさせる。			
実務経験	航空自衛隊での実務経験を活かした飛行機実習の授業。			
授業の進め方	実習を多く取り入れ、安全に作業をできるよう身に付けさせる。			
到達目標	1. 工具の名称と取り扱い法を理解する。 2. 航空機の仕組みを理解する。 3. 整備をする上で必要な基本事項を身につけさせる。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	70%	10%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	航空機の整備	6		
2	工具の名称、使用法	10		
3	航空機の操縦法	4		
4	地上取り扱い法	14		
5	締結法	16		
6	計測器	10		

学科	航空整備技術科 技術コース	学年	1年
科目	飛行機実習	授業方法	実習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
航空機の整備	a 航空機とは b 航空機の整備の整備 c 地上安全	4月～5月	6	
基本工具	a 基本工具の名称 b 工具の使用法	5月～6月	10	
操縦法	a 機体各部の名称 b 航空機の運動と操縦法	6月	4	
地上取扱法	a 地上移動法 b けい留法 c 持ち上げ d 吊り上げ	7月～9月	14	
締結法	a ボルト、ナット、ビス、スクリューの取り付け、取り外し。 b 安全線	9月～12月	16	
計測器	a ノギス b テンションメーター c トルクレンチ	1月～3月	10	

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備技術科 技術コース	担当	高石一朝(常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	原動機実習	授業 方法	講義・演習・ 実習	教育時間	90
教科書	無し				
参考書	無し				

教 育 の 内 容				
授業概要	機械の整備に必要な基礎知識と測定方法や図面を読み取る力をさらに向上させ、就職先で適切な整備のできるエンジニアになることを目標として取り組む。			
実習内容	就職してから使用されるであろう機器の取り扱いや工具の使用方法及び各種測定の方法を学ぶ			
授業の進め方	座学で基礎知識と常識を教える、実習で測定の実技試験を行う			
到達目標	1. ディーゼルエンジンの基礎知識と取り扱いを習得する。 2. 油圧の基礎知識と取り扱いを習得する。 3. 電気装置の基礎知識と測定方法を習得する			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	40%	40%	20%	100%

授 業 計 画			
(1単位時間=50分)			
No.	教 育 項 目	時 間	備 考
1	エンジンの基礎知識	10	
2	エンジン各部の名称と点検、取り扱い	10	
3	ノギスの使い方&マイクロメーターの使い方	20	
4	油圧装置の基礎知識	10	
5	油圧装置の名称、点検、取り扱い	10	
6	電気の基礎知識	10	
7	サーキットテスターの測定	20	

学科	航空整備技術科	学年	2年
科目	原動機実習	授業方法	実習

2/2ページ

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
座学	a ディーゼルエンジンの基礎知識	4月～6月	20	
	b 油圧装置の基礎知識			
	c 電気の基礎知識			
	d 工学の一般常識			
実習	a ノギスの使い方	7月～3月	40	
	b マイクロメーターの使い方			
	c サーキットテスターの使い方			
	d エンジンと油圧装置の名称と点検、取り扱い			

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備技術科	担当	府中 敬 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	キヤド演習	授業 方法	講義・ 演習 ・実習	教育時間	30
教科書	Autodesk AutoCAD2023/Autodesk AutoCAD LT2023 公式トレーニングガイド				
参考書	-				

教 育 の 内 容				
授業概要	製造職に必要な図面を読み取る力をさらに向上させ、部品図も設計できるような設計と製造ができるエンジニアになることを目標として取り組む。			
実務経験	精密機械の図面修正、組み立て等の実務経験を活かして機械の仕組み学びながら図面を描く授業を行っている。			
授業の進め方	製図記号などを座学で学び、簡単な形状→部品図の設計へと進めている。			
到達目標	1. 図面を確実に理解できる。 2. 部品図の作成ができる。 3. 効率の良い設計ができる。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	40%	40%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	図面注釈を作成	10		
2	部品図の作成	20		

学科	航空整備技術科 技術コース	学年	2年
科目	キャド演習	授業方法	演習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
図面注釈を作成	a AutoCADにおける尺度の概要 b 製図記号の説明 c テキストオブジェクトの作成 d ハッチングオブジェクトの作成 e 寸法オブジェクトの作成 f マルチ引出線オブジェクトの作成	4月～7月	10	
部品図の作成	a 簡単な立体図から複数の部品図の作成 b トースカンの全体図・部品図の作成 c 軸、ハウジング、ケーシングの作成	7月～3月	20	

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備技術科 技術コース	担当	荒木泰広 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	英語Ⅱ	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	60
教科書	英文法リアクショントレーニング 応用編				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	TOEIC Listening & Reading Test 300~400点、英検3級程度の英語力を身に付けるとともに、英会話でよく使われる表現を身に付け、スピーキング力の向上を目指す			
実務経験	—			
授業の進め方	テキストを使いながら、洋楽、洋画なども取り入れて、英語に興味をもたせつつ、基礎的文法表現を習得させていく			
到達目標	1、英語に慣れる 2、英検三級の取得 3、TOEICテスト350			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	いろいろな英文法(基礎)	10		
2	TOEIC Part1 写真描写問題	10		
3	TOEIC Part2 応答問題	10		
4	TOEIC Part3 会話問題	10		
5	英検対策	10		
6	会話表現	10		

学科	航空整備技術科 技術コース	学年	2年
科目	英語Ⅱ	授業方法	講義

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
英文法基礎	いろいろな英文法(基礎) 1. 品詞 2. 時制(現在、過去、未来、完了時制) 3. 進行形 4. 態 5. 条件(仮定法) 6. その他	4月～6月	20	
TOEIC基礎	TOEIC 模擬問題練習(基礎) 反復練習 1. Part1, Part2 2. Part3	6月～10月	20	
英検対策	英検対策 英検3級リスニングセクション練習 英検3級筆記練習(英作文含む) 会話表現 日常会話表現基礎	11月～2月	20	

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

(専門科目) ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備技術科	担当	羽田勇也・天野純一 (常勤)	開講時期	2年次 前期
科目名	工作実習Ⅱ	授業 方法	講義・演習 (実習)	教育時間	90
教科書	航空機の基本技術				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	航空機製造に於いて必要な技術・能力を身に付ける。			
実務経験	航空機製造業に5年間勤務した経験から、安全性・正確性が必要な製造技術を教育する。			
授業の進め方	図面読み取り、穴あけ作業、工作機械の取り扱いを習得する。			
到達目標	航空機の製作、修理等に必要な応用技術を確実に身に付ける。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	60%	20%	20%	100%
授 業 計 画 (1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	航空機の作図	20		
2	金属の加工作業	40		
2	塗装作業	30		

学科	航空整備技術科	学年	2年
科目	工作実習Ⅱ	授業方法	実習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
航空機の作図	a 縮図・拡大図の理解 b ノギスの使用方法	4月	20	
金属の加工作業	a ニューマチックドリル取り扱い b バンドソー取り扱い c 大型切削機械及びその他工作機械取り扱い	6月～7月	40	
塗装作業	a サンディング b 塗布作業 c 乾燥	8月～9月	30	